

<普段の学校の様子から ～毎日、うれしい発見がたくさんあります。その一部を紹介します。～>

北陸地方も梅雨入りしました。雨がずっと気分もすっきりしないのですが、お気に入りの傘や合羽、長靴を使えることが嬉しそうな子供の姿も見られます。かわいいですよ。

校門前で子供たちを迎えていると、寺家小ブラスバンド部の朝練習の曲が聞こえ、子供たちが「おはようございます」とあいさつし登校してきます。その後、1・2年生の子供たちが育てている野菜やアサガオに水やりをする姿を見ながら、玄関前の落ち葉を掃いている時の「校長先生、ありがとう！」と声をかけてくれる子供の声。毎日癒され、一日が始まります。

子供たちは元気です。暑くなり学校では熱中症に気を付けている毎日ですが、先日、ある子供が私に、「校長先生、今日は熱中症の警戒の放送があったのに、休み時間に男子がサッカーをしているから声をかけてほしいです。男子に言うとなるとそんなに激しい運動をしてないって言うんだけど、汗びっしょりで教室に帰ってくるんだもん。心配」素敵な言葉にうれしくなりました。「ありがとう！」

帽子をかぶって水筒を準備しながらグラウンドでサッカーを楽しむ子供の気持ちも分かり、その日は、熱中症指数は「警戒(水分補給をしっかりと行い、激しい運動は30分程度で休憩をとる)」だったので、サッカーをしている子供たちには「いつもより早めに休憩し、水分補給をしっかりとするんだよ」と伝えました。

学校では毎日、熱中症指数を測り、大休憩や昼休みの子供たちが体調管理できるようにしています。気温湿度が高い日には、登下校の際にも十分気を付けるようご家庭でも声掛けをよろしくお願いします。

櫛原神社の祭礼は、神社や近くの道路に多くの出店があり、子供たちが毎年楽しみにしています。特に寺家小学校は校区内の祭礼であり、時間を決めて友達と出かける子供もいました。その祭礼ですが、子供たちが「楽しい祭りにしたい。そのためにごみのポイ捨て等がなく、きれいな祭りにしたい」と考え、地域や市にも相談しながら、50個以上のごみ箱を作成し、神社内や道路に設置しました。そして、祭礼の後には、そのごみを分別する作業に取り組みました。子供たちが実際に行動したことで地域の行事や環境を考える学習になったと思います。特に、ごみの分別を体験した子供たちは、ごみが捨てられる現状を確認し、課題や集める方への感謝の気持ちも高めたのではないかと思います。

<寺家小学校育友会(PTA)の皆様へ感謝>

櫛原神社祭礼では、子供たちの安全を見守っていただくために巡回をしていただきました。また、ごみの分別に際して、子供へのサポートをしていただきました。

プール掃除では、子供たちのプール掃除の前に 1 年の間に底にたまった泥や葉を取り除く作業にもご協力いただきました。ご多用の中、ボランティアをお引き受けいただきました皆様、本当にありがとうございます。学校や子供たちが考え、やりたいと思ったことを行うために、教職員と共にサポートしていただける保護者の皆様や地域の皆様のお力添えは大変大きいです。

6月19日には、学習参観(1年生は、親子給食、親学び講座)を行いました。ご多用の中ご参観いただきありがとうございました。その後の引き渡し訓練も皆様のご協力で大変スムーズに実施できました。不審者対応や災害時、最近ではクマの対応等、保護者の皆様に子供を引き渡さなければいけないことも想定されます。災害等に備えておくことはとても重要です。この際に、ご家族でも子供を交えて非常時の対応についてお話いただければありがたいです。

これからまだまだ学校の活動は続きます。今後も子供たちにご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 椎名 千里